

令和7年度 墨田区立第三寺島小学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 校長 関口 亮治

学校教育目標	○じょうぶな体をつくる子 ○おたがいを大切に作る子	○進んで学ぶ子 ○人のために働ける子
目指す学校像	「子供が主役」になる魅力ある学校～子供の学びと安全・安心の保障～	
目指す児童像	・意欲的に運動し、自他の生命を大切に作る。 ・主体的に生き生きと学びに取り組む。 ・思いやりと勇気を育む。 ・他の幸せを自分の喜びにできる。	
目指す教師像	・子供の思いを受け止め、励まし続ける。 ・明るく優しく公平で知性的である。	

○令和7年度 学校経営計画における重点内容  
 「子供が主役」になる魅力ある学校づくりの実現を目指し、次の重点に基づいて学校運営を進める。  
 (1) **子供の学びの保障** 基礎的・基本的な知識・技能等だけでなく、主体的に周囲と協働して課題を解決していく資質・能力をはぐくむ。  
 (2) **子供たちの安全・安心の保障** 子供たちが安心して過ごせる居場所としての役割を果たす。  
 (3) **特別支援教育の充実** 誰もが相互に人格と個性を尊重し合える共生社会の実現を目指す。  
 (4) **チーム学校** 子供一人一人に多くの教職員、関係諸機関が関わり、自己肯定感や成長を支える支援を進める。

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価		
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等
各教科指導等	○子供たちが主体的に生き生きと取り組む授業を進め、確かな学力を育てる。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善を進める。 ②分かる・できる・定着する・楽しい授業を工夫する。	①校内研究会を算教科で取り組み、年4回の全体授業研究会を行う。墨田区研究協力校として2年間の取組の成果を報告する。 ②明確な発問・指示等の授業をする10の視点を提示し、授業観察を通して、指導・助言を行う。	4	主体的に学び合う姿の表出、視点に基づいた授業実施の状況75%以上	4	教員・保護者アンケート、児童の教育心理検査等で肯定的回答75%以上	3	・校内研究の取組で、児童アンケートの結果を分析し、研究の方向性を2年次に向けてまとめた。 ・区学習状況調査結果に基づいて学力向上を図るための計画を作成し、授業改善を進めた。	A	B	・校内研究の成果については、もう少し長い期間で検証し、一人一人の成長を見るべきではないと思う。
			3	主体的に学び合う姿の表出、視点に基づいた授業実施の状況65%以上	3	教員・保護者アンケート、児童の教育心理検査等で肯定的回答65%以上					
			2	主体的に学び合う姿の表出、視点に基づいた授業実施の状況60%以上	2	教員・保護者アンケート、児童の教育心理検査等で肯定的回答60%以上					
			1	主体的に学び合う姿の表出、視点に基づいた授業実施の状況60%未満	1	教員・保護者アンケート、児童の教育心理検査等で肯定的回答60%未満					
	○特別な支援を必要とする子供に対して組織的な取組等を行う。 ①校内委員会の充実を図り、組織的に見直しをもった指導・支援を行う。 ②ユニバーサルデザインの視点にたった授業、環境づくりを進める。	①毎月の校内委員会、毎週の生活指導夕会を中心に情報共有し、共通理解に基づいて体制を整備し、支援を進める。 ②授業観察・参観や校内OJTによって学び合い、指導の工夫を行う。	4	校内委員会に基づいた支援体制やOJTの実施状況75%以上	4	教員・保護者アンケートの肯定的回答75%以上	3	・定期的な校内委員会に加え、必要な時に随時委員会を開催し、カウンセラー等の関係者とも連携して、共通理解に基づいた支援体制を組み、支援を進めた。	B	B	・特別支援学級が開設されたことはとても良かった。
			3	校内委員会に基づいた支援体制やOJTの実施状況70%以上	3	教員・保護者アンケートの肯定的回答70%以上					
			2	校内委員会に基づいた支援体制やOJTの実施状況60%以上	2	教員・保護者アンケートの肯定的回答60%以上					
			1	校内委員会に基づいた支援体制やOJTの実施状況60%未満	1	教員・保護者アンケートの肯定的回答60%未満					
	○教員の授業力・指導力向上のための組織的な取組を行う。 ①教科担任制、授業シェアリングを推進し、専門性の向上を図る。 ②学習指導力等向上のための研修会を行う。	①高学年は担任の持ち合いによる教科担任制、低・中学年は授業シェアリングを実施する。副担任を各学年に置く。 ②学習指導力、特別支援教育、リスクマネジメント等、実態に応じた校内OJTを実施する。	4	指導体制の工夫やOJTの実施状況80%以上	4	教員・保護者アンケートの肯定的回答80%以上	3	・高学年の教科担任制の取組は教員の専門性を生かして指導を進めることができた。 低、中学年の授業シェアリングについては指導体制を工夫し、一層の実施を行う必要がある。	A	A	・「学校は、『子供が主役になる魅力ある学校』の実現に向けて、授業内容や指導方法を工夫している」等の保護者アンケートで90%以上の肯定的評価を受けている。
			3	指導体制の工夫やOJTの実施状況70%以上	3	教員・保護者アンケートの肯定的回答70%以上					
			2	指導体制の工夫やOJTの実施状況60%以上	2	教員・保護者アンケートの肯定的回答60%以上					
			1	指導体制の工夫やOJTの実施状況60%未満	1	教員・保護者アンケートの肯定的回答60%未満					
生活指導等	○不登校・いじめ等の予防や解決に向けた組織的な取組を行う。 ①不登校・いじめの未然防止のための指導の充実を図る。また、早期発見、早期解決に取り組む。	①定期的ないじめ防止、不登校連絡会、生活指導夕会での情報共有に基づき組織的に早期対応を行う。 ②改訂生徒指導提要の理解と活用を進め、いじめ防止授業等を通して未然防止の充実を図る。	4	各取組の実施状況80%以上	4	不登校・いじめ出現の減少10%以上（前年比）	2	・いじめ防止授業、未然防止の取組を行うとともに、アンケート調査や校内での情報共有、対応を組織的にを行い、早期発見、対応、解決に努めた。 ・不登校の予防や解決に向けて、家庭、関係機関と連携して一人一人に応じた取組を進めることができた。	B	B	・不登校やいじめの未然防止を一層図るために、子供の自己有用感や自己肯定感を高める取組の工夫を進める。
			3	各取組の実施状況70%以上	3	不登校・いじめ出現の減少7%以上（前年比）					
			2	各取組の実施状況60%以上	2	不登校・いじめ出現の減少5%以上（前年比）					
			1	各取組の実施状況60%未満	1	不登校・いじめ出現の減少5%未満（前年比）					
	○基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。 ①望ましい生活行動を設定し、基本的な生活習慣の定着を図る。 ②道徳教育の充実を図る。	①「三寺あいことば」等の望ましい生活行動を各月、各週の生活目標に設定し、取り組み、評価する。 ②道徳授業地区公開講座や毎週の道徳授業の充実、改善を進める。	4	各取組の実施・改善状況70%以上	4	教員・保護者・児童アンケートの肯定的回答70%以上	3	・子供の学校生活の様子から毎週の生活目標を設定して生活習慣の向上に取り組んだ。 ・道徳科の各内容に照らして指導を行い、心の教育の充実にも努めた。	B	B	・保護者アンケートの「あいさつ・返事・靴そろえ・時間を守る」等の基本的行動に関する項目が、全項目中で最も低い結果となった。（肯定的評価84.7%、前年度比-0.3ポイント）
			3	各取組の実施・改善状況65%以上	3	教員・保護者・児童アンケートの肯定的回答65%以上					
			2	各取組の実施・改善状況60%以上	2	教員・保護者・児童アンケートの肯定的回答60%以上					
			1	各取組の実施・改善状況60%未満	1	教員・保護者・児童アンケートの肯定的回答60%未満					
	○危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。 ①安全・安心の知識、実践力を身に付ける取組を充実させる。 ②子供の自己肯定感を高める指導・支援を行う。	①安全教育プログラム等を活用した安全指導を実施する。SNS等の関わり方、セーフティ教室等の実施を工夫する。 ②肯定的、受容的な温かい言葉等の環境を整える。授業を中心に教師と子供、子供相互のセッションをつくる。	4	各取組の実施・改善状況80%以上	4	教員・保護者・児童アンケートの肯定的回答80%以上	3	・安全教育プログラムに基づいて交通安全等、適時に安全指導を行った。 ・安全点検による学校環境の整備、確認を行い、子供が安心して学習に取り組める環境づくりに努めた。	A	A	・保護者アンケートの肯定的回答は、教育活動で94.2%、設備環境面では95.4%だった。
			3	各取組の実施・改善状況70%以上	3	教員・保護者・児童アンケートの肯定的回答70%以上					
			2	各取組の実施・改善状況60%以上	2	教員・保護者・児童アンケートの肯定的回答60%以上					
			1	各取組の実施・改善状況60%未満	1	教員・保護者・児童アンケートの肯定的回答60%未満					

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
学校の管理運営	○経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。 ①各教員が学校経営方針を受けて目標設定をし、教育課程に基づいて学校運営を行う。	①教員一人一人が適切な目標設定を行い、学校運営に参画する。 ②校長、園長、副校長、主幹教諭、生活指導主任で経営会議を毎日行い、職務の遂行状況、進行管理を確認する。	4	教育課程の進捗・実施状況80%以上	4	4	教員アンケートの肯定的回答80%以上	4	・教員一人一人が学校経営方針に基づいて目標を設定し、目標達成のための取組を主体的、意欲的に進めることができた。	・学校経営のビジョンをより明確に示す。 ・各分掌がより機能的に働くよう評価に基づいて改善を重ねる。	A	A	・教員一人一人が学校経営方針に基づき、学校の教育目標達成に向けて、各指導に取り組むことができた。
			3	教育課程の進捗・実施状況75%以上		3	教員アンケートの肯定的回答75%以上						
			2	教育課程の進捗・実施状況70%以上		2	教員アンケートの肯定的回答70%以上						
			1	教育課程の進捗・実施状況70%未満		1	教員アンケートの肯定的回答70%未満						
	○子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。 ①適正なPDCAサイクルに基づいて学校運営を行う。	①各学習状況調査、生活アンケート、アイ・チェック等の結果に基づいて学校運営を進める。	4	各調査結果等に基づいたPDCAサイクルの実施状況80%以上	3	4	教員アンケートの肯定的回答80%以上	3	・行事後のアンケート、各種調査の結果に基づいて、学校運営の改善や学力向上を図るための計画の立案等、PDCAサイクルに基づいた学校運営を行った。	・次年度も各種調査の結果を適正に考察し、その成果と課題を生かした学校運営を進める。	B	B	・PDCAサイクルに基づいて、保護者や地域の意見を聞き、改善に取り組むことができた。 (保護者の肯定的回答92.9%、昨年度比-2.1ポイント)
			3	各調査結果等に基づいたPDCAサイクルの実施状況70%以上		3	教員アンケートの肯定的回答70%以上						
			2	各調査結果等に基づいたPDCAサイクルの実施状況60%以上		2	教員アンケートの肯定的回答60%以上						
			1	各調査結果等に基づいたPDCAサイクルの実施状況60%未満		1	教員アンケートの肯定的回答60%未満						
	○適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。 ①安全・安心を第一に考えた環境整備を行う。 ②学校予算を効果的・効率的に使用し、教育環境の充実を図る。	①望ましい生活行動を身に付ける取組と関連して、清掃等、校舎内の美化を進める。 ②ICT活用を含め、子供の学びが充実する学校予算の活用を進める。	4	環境美化、予算活用の取組状況80%以上	3	4	教員・保護者アンケートの肯定的回答80%以上	3	・学校予算の効果的活用を図り、安全・安心を考慮した教育環境整備を進めた。	・ICT活用を含めて子供の学び、学校生活が充実し、自己肯定感が育まれる視点で、教育環境、設備等の整備を一層進める。	B	B	・ICT化も大切だが、対話(直接でのやりとり)でのコミュニケーションも大事にしてほしい。
			3	環境美化、予算活用の取組状況70%以上		3	教員・保護者アンケートの肯定的回答70%以上						
2			環境美化、予算活用の取組状況60%以上	2		教員・保護者アンケートの肯定的回答60%以上							
1			環境美化、予算活用の取組状況60%未満	1		教員・保護者アンケートの肯定的回答60%未満							
家庭・地域連携	○保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。 ①保護者、地域が参画する授業、連携する授業の充実を図る。 ②外部人材を招いての授業を通して、体験的な理解を深める。	①②保護者、地域と連携した授業を実施し、成果を報告する。 ①学校運営連絡協議会を通して、地域との連携を密にする。	4	保護者、地域と連携した授業等の実施状況70%以上	3	4	地域・保護者・教員アンケートの肯定的回答70%以上	3	・地域の学習材や人材、都や区の情報を活用して外部講師を招いたり、校外学習を計画、実践をし、体験的に理解を深める学習活動を推進した。	・学校の取組をホームページ等を効果的に活用して発信し、より積極的に外部人材を生かした学習活動を行う。	B	B	・協力できることがあれば、学校から声をかけてほしい。
			3	保護者、地域と連携した授業等の実施状況65%以上		3	地域・保護者・教員アンケートの肯定的回答65%以上						
			2	保護者、地域と連携した授業等の実施状況60%以上		2	地域・保護者・教員アンケートの肯定的回答60%以上						
			1	保護者、地域と連携した授業等の実施状況60%未満		1	地域・保護者・教員アンケートの肯定的回答60%未満						
	○社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。 ①寺島中学校ブロックとして幼保小中一貫教育を推進する。	①寺島中学校ブロック目標「主体的に学ぶ子供の育成」に基づいて1年間を見通した教育活動を検討し進める。 ①異学年、併設の幼稚園との交流活動を行う。	4	交流活動等の取組状況70%以上	3	4	教員・児童の肯定的回答70%以上	3	・寺島中学校ブロックとして幼保小中一貫教育を計画に基づいて実践した。 ・交流給食等、併設幼稚園との交流機会を増やし、実践を重ねた。	・1学年と6学年の交流は日常的に行われ、効果的な取組となっている。他の異学年交流においてもよい効果が得られるように工夫をしていく。	A	A	・併設の幼稚園との交流を中心に、幼保小中一貫教育の充実に努めた。
			3	交流活動等の取組状況65%以上		3	教員・児童の肯定的回答65%以上						
			2	交流活動等の取組状況60%以上		2	教員・児童の肯定的回答60%以上						
			1	交流活動等の取組状況60%未満		1	教員・児童の肯定的回答60%未満						
	○教育方針や日常の教育活動の様子等を工夫して分かりやすく伝える取組を行う。 ①情報発信の方法を工夫するとともに回数を増やす。	①年3回の学校公開と保護者会や年2回の個人面談の実施、ホームページや配付物等による情報発信を定期的に行う。	4	学校公開等の実施状況や学校情報の発信状況70%以上	3	4	保護者・地域アンケートの肯定的回答70%以上	3	・情報発信の電子化を一層進めた。学校・学年だよりを一枚の紙面にして分かりやすく伝えるように工夫した。 ・ホームページによる定期的な情報発信の仕方を工夫する必要がある。	・情報発信の改善を重ね、家庭、地域に適時に学校の様子が伝わるようにし、一層の連携を進める。	A	B	・保護者アンケートの肯定的回答は、情報公開に関することでは97.5%、発信方法では94.7%だった。
			3	学校公開等の実施状況や学校情報の発信状況65%以上		3	保護者・地域アンケートの肯定的回答65%以上						
			2	学校公開等の実施状況や学校情報の発信状況60%以上		2	保護者・地域アンケートの肯定的回答60%以上						
			1	学校公開等の実施状況や学校情報の発信状況60%未満		1	保護者・地域アンケートの肯定的回答60%未満						

○令和7年度 学校経営報告のまとめ(総括)

・学力向上に向けた改善計画に基づいて教育活動を進めたり、学校行事等を通して子供が学習の成果を発表する機会に意欲的に取り組んだりした結果、子供が主体的に活動し、資質・能力を高めることができた。次年度は次の重点で魅力ある学校づくりを進める。

(1) 学力向上の取組 ・子供の実態に応じた授業改善、校内研究(算数)の実践

(2) 心理的安全性を保障する取組 ・子供一人一人の自己有用感、自己肯定感を高める学年・学級集団の形成

(3) インクルーシブ教育システムの構築 ・特別支援学級、特別支援教室と連携を深めた特別支援教育の実践